

奥州金ヶ崎行政事務組合告示第 14 号

地方公営企業法（昭和27年法律第292号）第40条の2第1項の規定により、胆江広域水道  
用水供給事業の業務状況（令和4年4月1日から令和4年9月30日まで）を別紙のとおり公  
表する。

令和4年11月4日

奥州金ヶ崎行政事務組合  
管理者 倉 成 淳



# 1 事業の概況（令和4年9月30日現在）

月別の水量（取水、供給、有効、有収）

区 分		取水水量 ( $m^3$ )	供給水量 ( $m^3$ )	有効水量 ( $m^3$ )	有収水量 ( $m^3$ )
令和4年	4月	355,552	323,472	323,472	318,345
	5月	343,714	313,147	313,147	308,235
	6月	350,357	319,960	319,960	314,887
	7月	346,799	316,882	316,882	312,038
	8月	376,283	344,767	344,767	339,941
	9月	361,748	330,492	330,492	325,742
合計		2,134,453	1,948,720	1,948,720	1,919,188
前年同月合計		2,093,506	1,906,242	1,906,242	1,873,297
対前年度	増減	40,947	42,478	42,478	45,891
	増減率	1.96%	2.23%	2.23%	2.45%

取水量、供給水量及び有収率

区 分		令和4年度	備 考
取水量	年間取水量 ( $m^3$ )	2,134,453	
	一日最大取水量 ( $m^3$ )	12,890	令和4年8月9日
	一日平均取水量 ( $m^3$ )	5,848	
供給水量	年間供給水量 ( $m^3$ )	1,948,720	
	一日最大供給水量 ( $m^3$ )	11,927	令和4年8月10日
	一日平均供給水量 ( $m^3$ )	5,339	
有効率	年間供給水量 ( $m^3$ ) (A)	1,948,720	
	有効水量 ( $m^3$ ) (B)	1,948,720	
	有収水量 ( $m^3$ ) (C)	1,919,188	
	有効無収水量 ( $m^3$ )	29,532	
	無効水量 ( $m^3$ )	0	
	有効率 (B/A×100) %	100.0	
	有収率 (C/A×100) %	98.5	

2 令和4年度胆江広域水道用水供給事業会計予算執行状況（令和4年9月30日現在）

(1) 収益的収入及び支出（税込み）

収入

単位：千円

款、項	予算額			執行額	執行率
	当初予算額	補正予算額	合計		
第1款 水道用水供給事業収益	658,201	0	658,201	332,690	50.5%
第1項 営業収益	583,624		583,624	295,511	50.6%
第2項 営業外収益	74,455		74,455	37,179	49.9%
第3項 特別利益	122		122	0	0.0%

※営業外収益は、長期前受金戻入予算額2分の1を含む。

支出

単位：千円

款、項	予算額			執行額	執行率
	当初予算額	補正予算額	合計		
第1款 水道用水供給事業費用	529,829	0	529,829	210,889	39.8%
第1項 営業費用	438,537		438,537	176,236	40.2%
第2項 営業外費用	85,822		85,822	34,653	40.4%
第3項 特別損失	470		470	0	0.0%
第4項 予備費	5,000		5,000	0	0.0%

※営業費用は、減価償却費予算額2分の1を含む。

(2) 資本的支出（税込み）

単位：千円

款、項	予算額			執行額	執行率
	当初予算額	補正予算額	合計		
第1款 資本的支出	558,746	0	558,746	153,865	27.5%
第1項 建設改良費	252,093		252,093	1,355	0.5%
第2項 企業債償還金	306,653		306,653	152,510	49.7%

### 3 令和3年度決算の状況

令和3年度の胆江広域水道用水供給事業は、経費の節減及び業務の効率化に取り組み、独立採算を基本とする公営企業として健全経営に努めた。

水道用水供給料金は、令和2年度から令和4年度までの3か年の水道用水供給料金による水道水の供給を行った。

また、整備計画期間内のたんこう浄水場に係る整備計画の見直しや経営諸課題の解決に向け、奥州金ヶ崎行政事務組合胆江広域水道用水供給事業施設整備等検討委員会を設置し、検討を重ねた。

#### (1) 水道用水供給の状況

水道水の供給は、奥州市内7か所の受水池へ年間 3,776,712 m<sup>3</sup>供給し、令和2年度との比較では 59,230 m<sup>3</sup>の減となった。年間総有収水量は 3,715,107 m<sup>3</sup>となり、前年度比較で 55,579 m<sup>3</sup>の減となっている。

#### (2) 水道用水供給の状況

令和3年度は、建設改良としてたんこう浄水場の中央監視制御設備更新事業の実施設計業務、更新工事及び施工監理業務（債務負担による2か年事業の1年目）を実施した。

#### (3) 経営の収支状況

収益的収入及び支出の状況については、収入においては総額 606,385,350 円（消費税及び地方消費税込み額 659,674,065 円）となり、うち用水供給収益は 532,892,315 円（消費税及び地方消費税込み額 586,181,536 円）となった。

支出においては、総額 480,629,819 円（消費税及び地方消費税込み額 532,474,809 円）となり、この結果、125,755,531 円の当年度純利益が生じた。

資本的支出の状況については、建設改良費 15,880,982 円、企業債償還金 306,528,367 円で、総額 322,409,349 円（消費税及び地方消費税込み額）となり、資本的収支不足額 322,409,349 円は、当年度分消費税資本的収支調整額 1,443,725 円及び過年度分損益勘定留保資金 320,965,624 円で補填した。